2027年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料

リスクモンスター株式会社

証券コード3768

RISKMONSTER 2026.11

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

リスクモンスターとは　成長コンセプト

企業信用データ及びコンプライアンス情報を活用し、与信管理・反社チェック等のSaaS型サービスを提供しています。
BPOによる業務運用支援と組み合わせ、企業間取引のリスク管理インフラを実現します。



企業間取引のリスク管理インフラとして
継続利用されるモデル

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

業績ハイライト

売上高は前年同期並み。戦略的投資に伴う減価償却費の増加、マーケティングへの先行投資及びBPOサービス事業の既存案件減少等により減益となりました。
一方、EBITDAは527百万円と、前年同期と概ね同水準を維持しました。

	2026年3月期 中間期		**2027年3月期 中間期**	増減率
連結売上高	1,890百万円	▷	**1,891百万円**	＋0.1%
EBITDA（注1）	534百万円	▷	**527百万円**	▲1.4%
EBITDAマージン	28.3%	▷	**27.9%**	▲0.4ポイント
営業利益	176百万円	▷	**99百万円**	▲43.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	127百万円	▷	**66百万円**	▲48.2%

（注1）EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

通期業績予想の修正

最近の業績動向を踏まえ、2027年3月期業績予想を修正しました。

	前回予想	今回修正予想	増減額	増減率
連結売上高	4,000 百万円	**3,950 百万円**	▲50 百万円	▲1.3%
EBITDA	1,180 百万円	**1,140 百万円**	▲40 百万円	▲3.4%
営業利益	400 百万円	**270 百万円**	▲130 百万円	▲32.5%
経常利益	400 百万円	**270 百万円**	▲130 百万円	▲32.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	240 百万円	**160 百万円**	▲80 百万円	▲33.3%

売上高の修正要因
BPOサービス事業の既存案件の処理件数減少を主因として、前回予想を下回る見込みです。

利益の修正要因と改善策
戦略的投資に伴う減価償却費の増加、マーケティングへの先行投資及びBPOサービス事業の上期損失等を踏まえ、利益予想を修正しました。
BPOサービス事業では、採算管理の強化や低採算案件の見直しを進め、通期では概ね収支均衡を見込みます。

年間配当予想は１株当たり16.50円から変更ありません。

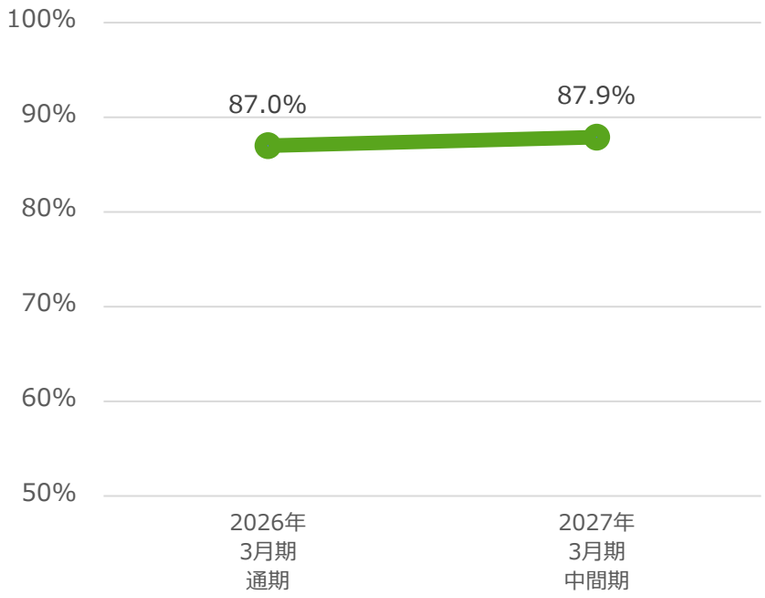
（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

収益モデル

与信管理サービス事業は、高い限界利益率を持つ収益構造です。当中間期は減価償却費の増加等が利益を圧迫しましたが、既存会員の利用拡大を通じ、収益基盤を活かした利益成長を目指します。

限界利益率（与信管理サービス事業）（注１）



固定費の構造

	2026年3月期 通期	2027年3月期 中間期
償却費（注２）	37.6%	40.9%
人件費	26.9%	25.0%

限界利益率（与信管理サービス事業）

2026年3月期 通期 **87.0 %** ▷ **2027年3月期 中間期 87.9 %**

当中間期の限界利益率は87.9%。

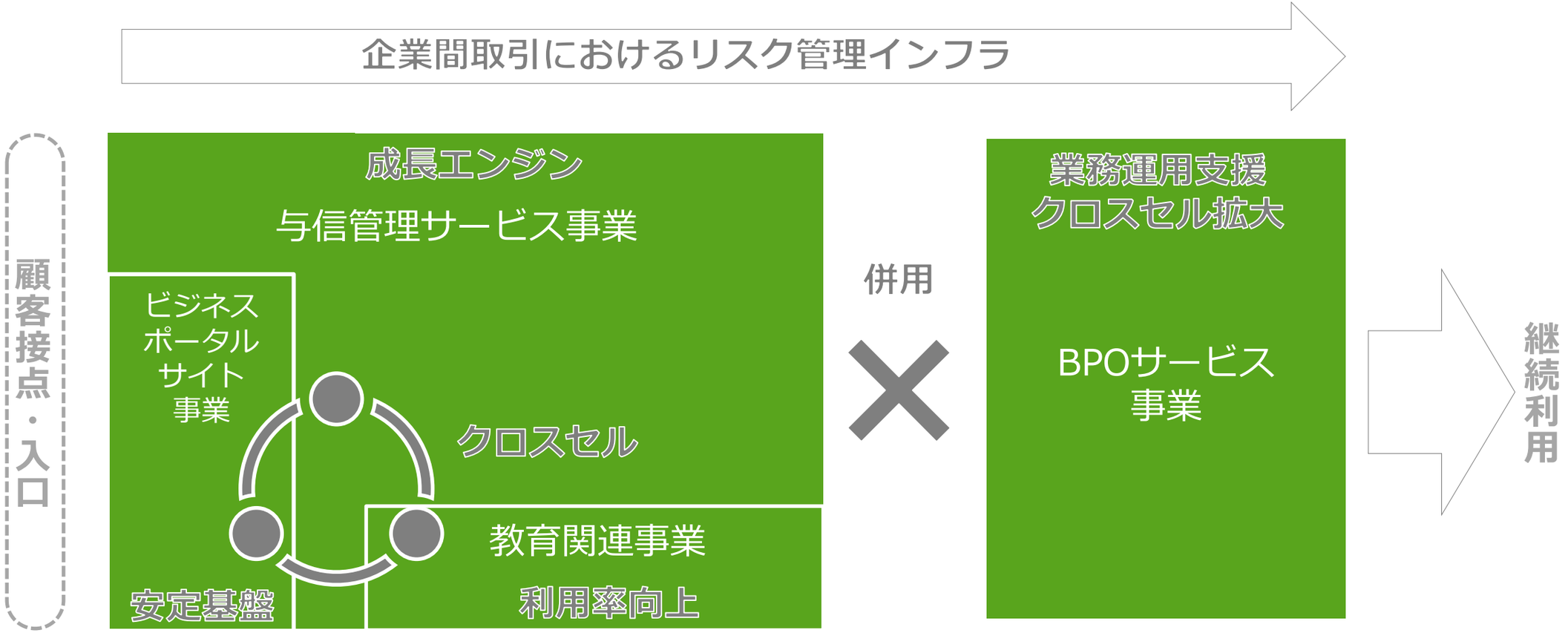
固定費に占める減価償却費の割合は40.9%。

（注１）限界利益率＝限界利益（売上ー変動費）÷　売上高
（注２）売上原価の減価償却費

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

事業ポートフォリオ 第９次中期経営計画

与信管理サービスを軸に、各事業の連携を通じて顧客の業務フローへの組み込みを進め、継続利用・クロスセル・BPO併用の拡大を目指します。



Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

成長の源泉 重要KPI

限度額利用率は改善。アラート利用率とクロスセル率は、前期通期平均と概ね同水準で推移しています。

	2025年3月期 下期平均		2026年3月期 通期平均		2027年3月期 上期平均
限度額利用率 ｅ－与信ナビ（注１）の利用が５件以上、またはポートフォリオサービス（注２）、RM与信限度額（注３）の個別設定を利用している会員の割合	**32.5 %**	▷	**33.0 %**	▷	**36.0 %**
アラート利用率 ｅ－与信ナビ取得先をモニタリング（注４）の対象として５件以上登録し、アラート受信後にｅ－与信ナビを取得した会員の割合	**11.3 %**	▷	**10.9 %**	▷	**11.0 %**
クロスセル率 与信管理サービス事業において、複数サービスを利用している会員の割合	**22.7 %**	▷	**24.2 %**	▷	**24.3 %**

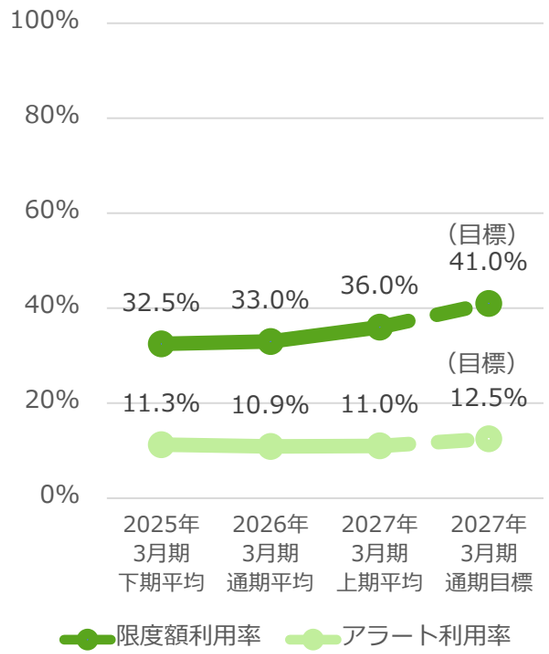
（注１）国内最大級の企業データベースと倒産企業データベースを分析し、企業の信用力を表す指標「RM格付」（注５）を付与した与信意思決定の判断のためのサービス。
（注２）取引先全体に対して与信リスクの洗い出しとリスクを定量化した分析レポート。
（注３）当社独自のロジックで算出した与信限度額。
（注４）取引先の信用状況の変化や企業信用情報に変更があった際に、電子メールやアラーム通知リストを提供する機能。
（注５）過去の倒産実績を分析し、Ａ～Ｆの６段階に格付けした当社独自の指標。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

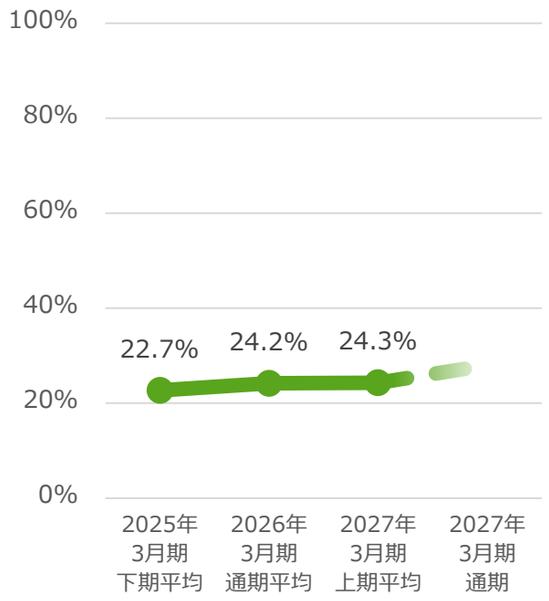
成長構造

新規会員の獲得及び新規利用料収入は堅調に推移しています。既存会員では利用率が徐々に改善しているものの、利用増加と利用減少が拮抗しています。このため、利用上位会員に重点を置き、利用状況の確認と利用拡大に向けた働きかけを進めています。グループのSaaS ARRは2,268百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

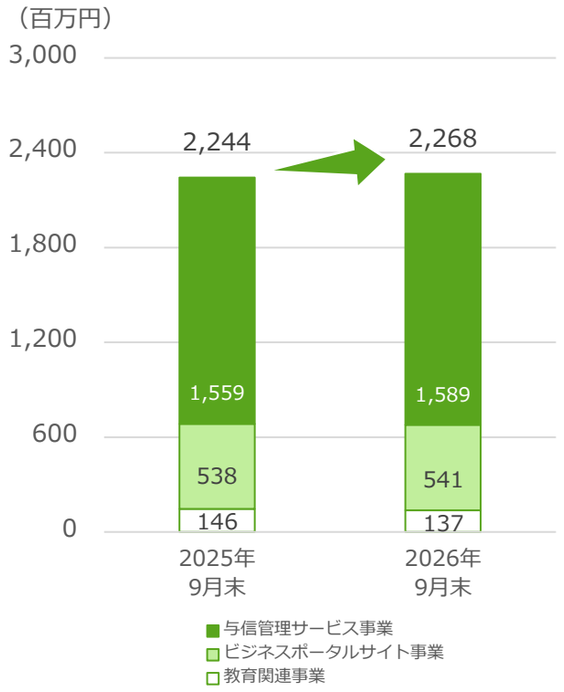
限度額利用率　アラート利用率



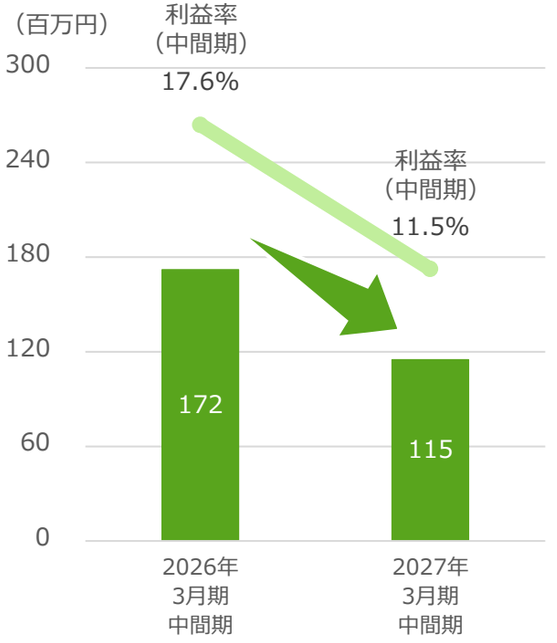
クロスセル率



SaaS ARR（注１）推移



与信管理サービス事業利益



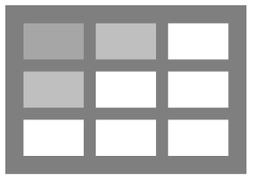
（注１）ARR（年間経常収益）は、月額または年額契約など継続的に得られる収益を年間ベースに換算した指標。
当社のARRの算出方法
与信管理サービス事業…会員顧客の月次のｅ－与信ナビ、その他SaaS型サービスの利用料（MRR）×12ヵ月
ビジネスポータルサイト事業…会員顧客の月次のグループウェア利用料（MRR）×12ヵ月
教育関連事業…会員顧客の月次のサイバックスUniv.利用料（MRR）×12ヵ月

減価償却費の増加等により、当中間期のセグメント利益は115百万円（前年同期比32.9%減）。既存会員の利用拡大と収益性の向上に取り組みます。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

クロスセルモデル

取引開始時の確認から継続モニタリング、業務運用支援まで、顧客の業務フローに沿ってサービスを提供します。
複数サービスの継続利用とBPOサービス併用の拡大を目指します。



反社チェック サービス

新規・既存取引先のコンプライアンスチェックに対応する反社チェックサービス（注１）を提供



与信ナビ サービス

RM格付を付与したｅ－与信ナビを提供



アラート サービス

モニタリング機能でアラート通知



BPO サービス

定期モニタリングやコンプライアンスチェックに伴う業務運用を、BPOサービスで支援（注２）

（注１）当社が独自に収集したコンプライアンス情報、反社関連情報を基にリスクの所在をヒートマップ形式で表示する「反社チェックヒートマップ」等のサービス。
（注２）与信管理サービス事業と連携し、反社チェックの一括代行や、ｅ－与信ナビの一括取得等の業務を受託。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

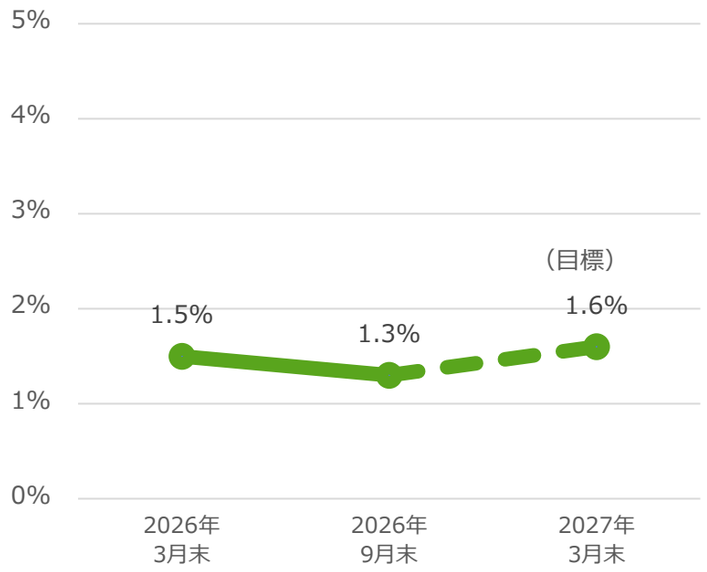
BPOサービス事業（収益拡張）

当中間期は、既存案件の減少等により、売上高459百万円、セグメント損失26百万円となりました。採算管理の強化や低採算案件の見直しを進め、通期では概ね収支均衡を見込みます。併せて、与信管理サービス会員へのBPO提案を強化し、併用拡大による収益成長を目指します。

与信管理SaaS平均単価（BPO併用有無別）

	2027年3月期 中間期 1社当たりの平均売上単価 （注１）
BPOサービスを 併用利用している RM会員（注２）	約**620**千円
BPOサービスを 併用利用していない RM会員（注２）	約**250**千円

併用利用率（注３）



BPO併用会員の
与信管理SaaS平均売上単価は、
非併用会員の約2.5倍（注４）。
併用利用率の向上で収益成長。

併用利用率

2026年3月末　　**2026年9月末**

1.5 %　▷　**1.3 %**

併用利用率は2026年３月末から低下。

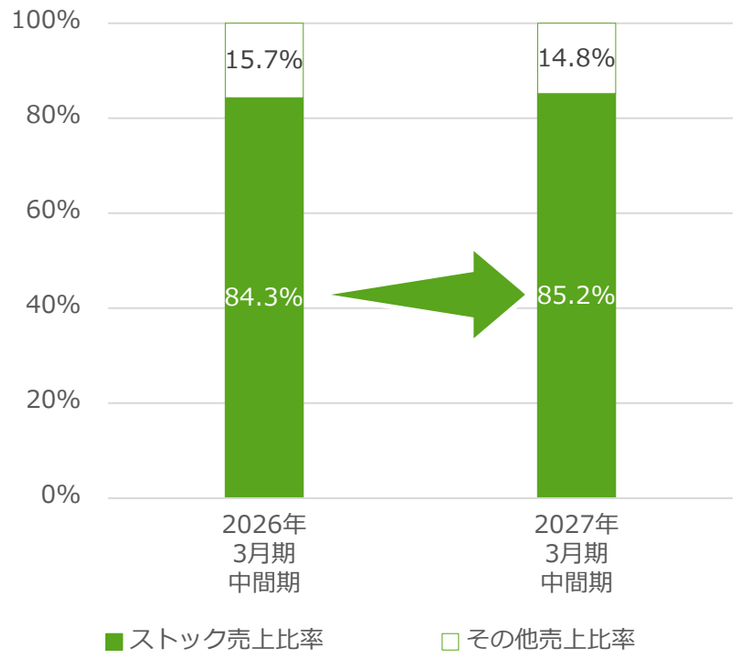
（注１）与信管理サービス事業の会員のSaaS型サービス売上（ｅ－与信ナビ等の利用料）の平均売上単価。
（注２）RM会員…与信管理サービス事業の会員。
（注３）与信管理サービス事業の会員の内、BPOサービスを利用している会員の割合。
（注４）与信管理サービス事業のサービスのみ利用している平均売上単価とBPOサービスを併用して利用している与信管理サービス事業の平均売上単価対比。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

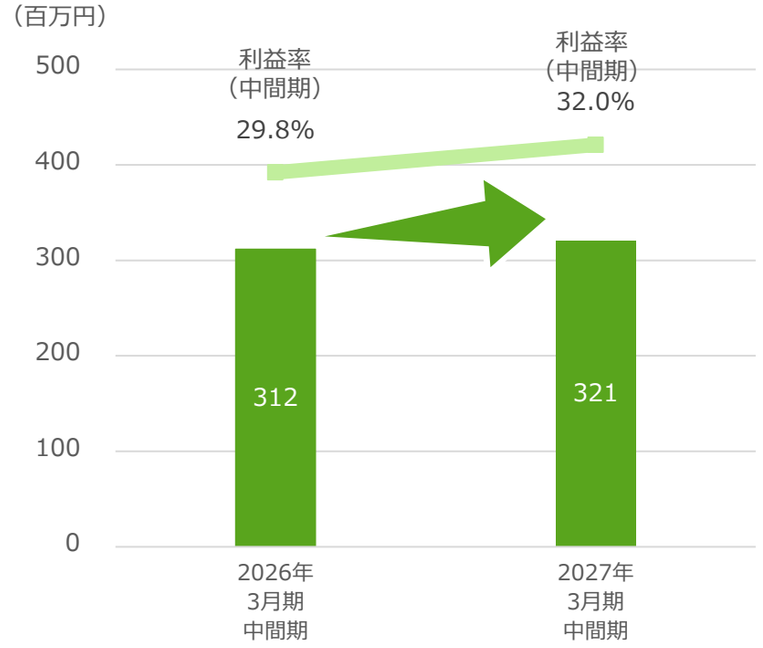
ビジネスポータルサイト事業（収益基盤）

当中間期のストック売上比率は85.2%（前年同期比0.9ポイント増）、セグメント利益率は32.0%となりました。
継続利用を基盤とする安定収益により、グループの収益基盤を支えています。中小企業向けにグループウェア、ワークフロー、勤怠管理システム等を提供するとともに、グループサービスへの接点機能を強化します。

ストック売上比率（注１）



売上高推移・セグメント利益率



ストック売上比率

2026年3月期 中間期		2027年3月期 中間期
84.3 %	▷	85.2 %

セグメント利益率

2026年3月期 中間期		2027年3月期 中間期
29.8 %	▷	32.0 %

ストック売上比率・セグメント利益率ともに前年同期を上回りました。

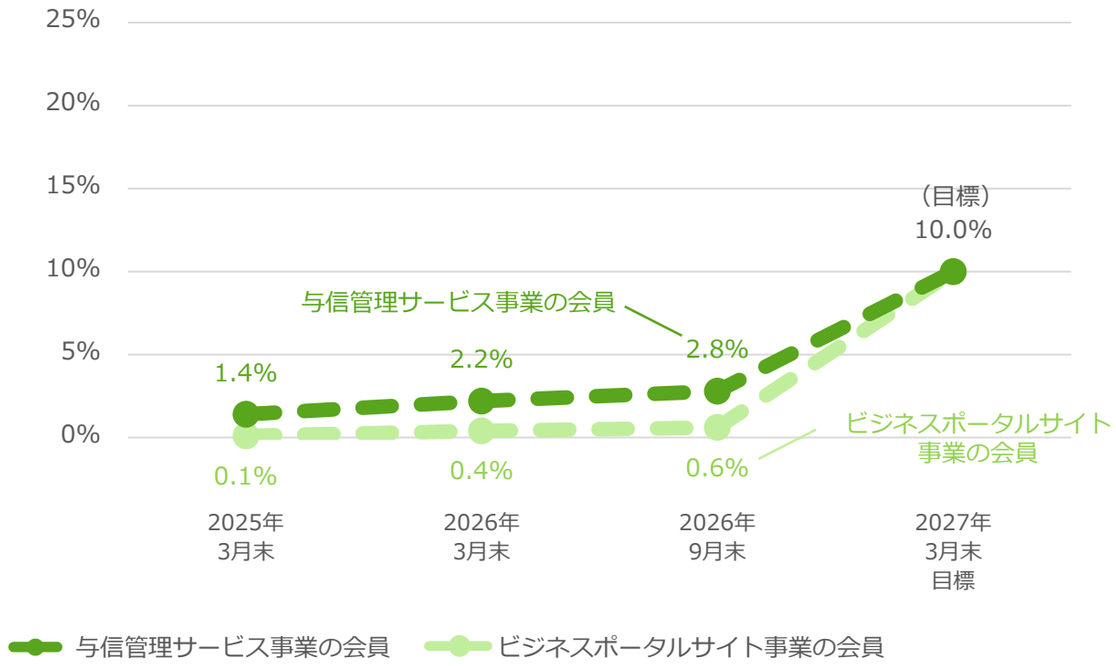
（注１）ビジネスポータルサイト事業の売上高に占めるグループウェア利用料の割合。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

教育サービスによる継続利用促進

教育コンテンツの提供を通じ、与信管理に関する理解と実務への活用を支援し、与信管理サービスの定着・継続利用を促進します。

他事業会員による教育サービス利用状況（注１）



サイバックスUniv.会員数

2026年3月末		2026年9月末
3,085 ID	▷	3,127 ID

教育サービスは、与信管理サービスの定着・継続利用促進を支援。

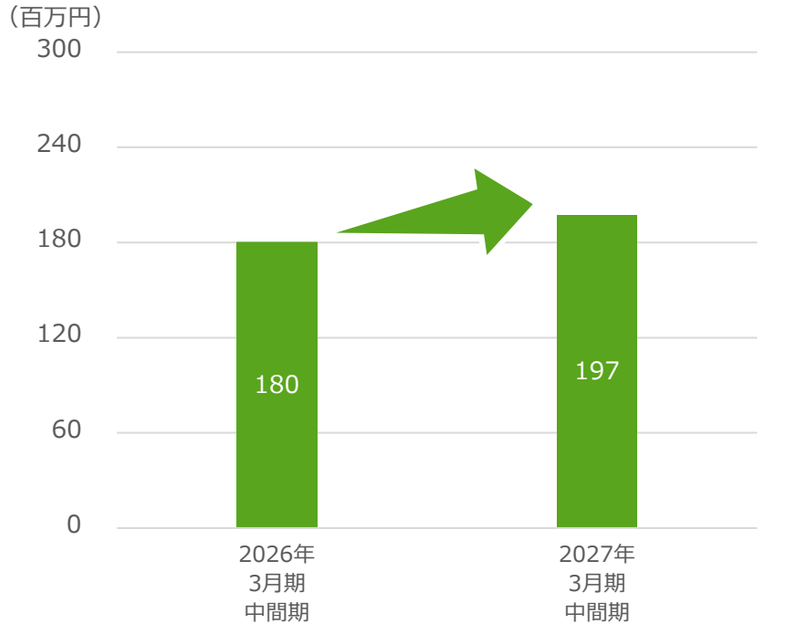
（注１）サイバックスUniv.の会員IDに占める、与信管理サービス事業またはビジネスポータルサイト事業の会員がログインしたIDの割合。
2025年３月末は受講率による参考値であり、以降のログインID比率とは単純比較できません。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

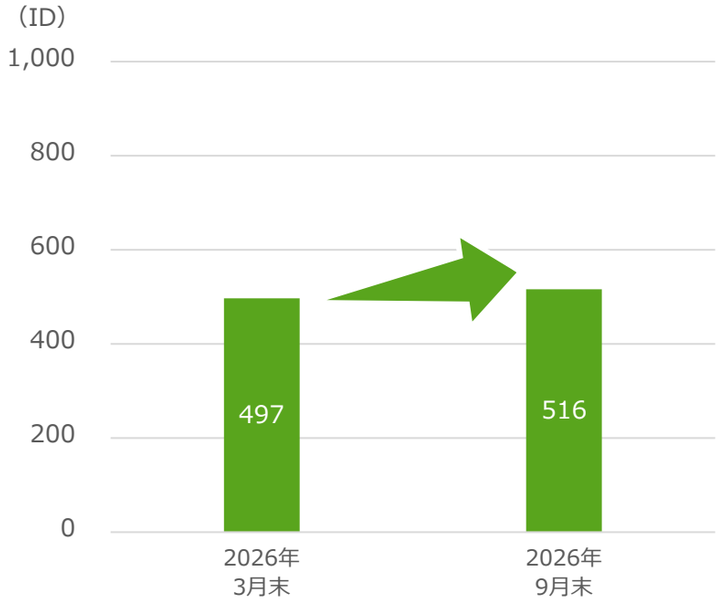
海外展開（補足）

中国における信用情報サービスを展開するとともに、海外拠点をグループのシステム開発・業務運用支援に活用。中国事業の収益性向上と、グループ全体の競争力強化に取り組みます。

売上高推移



会員数



中国企業データ及び海外拠点の開発・業務運用機能を活用し、与信管理サービス及びBPOサービスの品質・生産性向上を図ります。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

中期戦略

第９次中期経営計画（2026～2028年度）に基づき、与信管理・反社チェック・BPOを顧客の業務フローへ組み込み、継続利用と収益性の向上を目指します。

利用率の向上

限度額利用率・アラート利用率を重要KPIとし、
既存会員の利用拡大を推進

クロスセルの拡大

与信管理・教育・ビジネスポータルの連携により、
複数サービスの利用を促進
BPOサービス（バックオフィスDX）
➡ 採算管理・生産性の改善と、与信管理サービスとの併用拡大

ストック収益強化

継続利用と利用拡大によるストック収益の積み上げ
SaaS ARRで進捗を確認

業務インフラ化

企業間取引のリスク管理インフラを提供

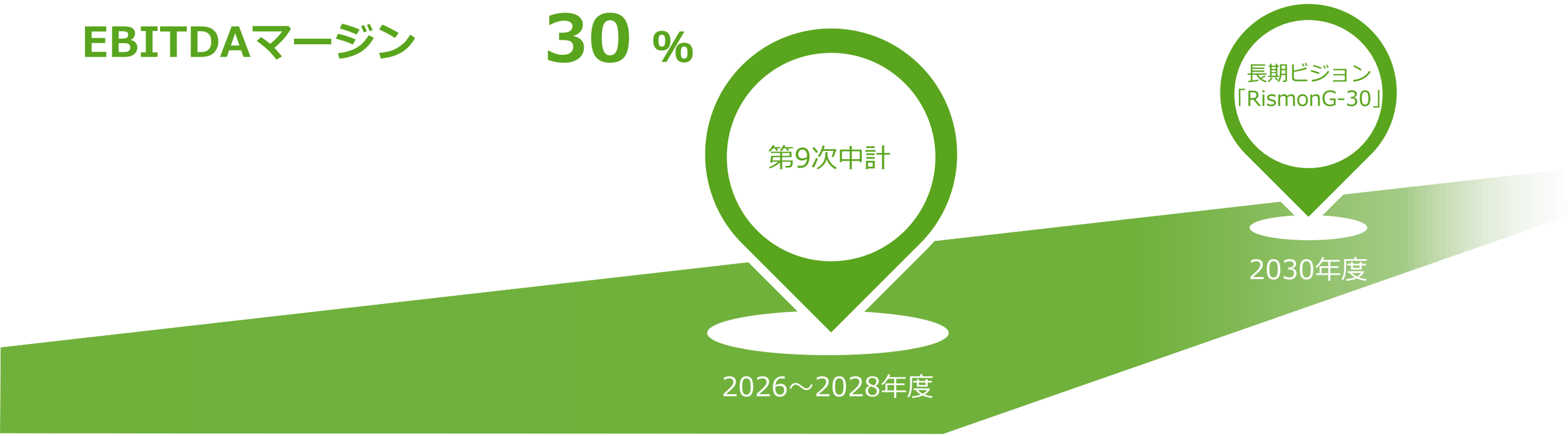
Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

中期目標

第９次中期経営計画（2026～2028年度）最終年度の数値目標

連結売上高	**45 億円**
営業利益	**5 億円**
EBITDAマージン	**30 %**

顧客業務への組み込みと生産性向上を通じ、高収益・高付加価値モデルを目指す

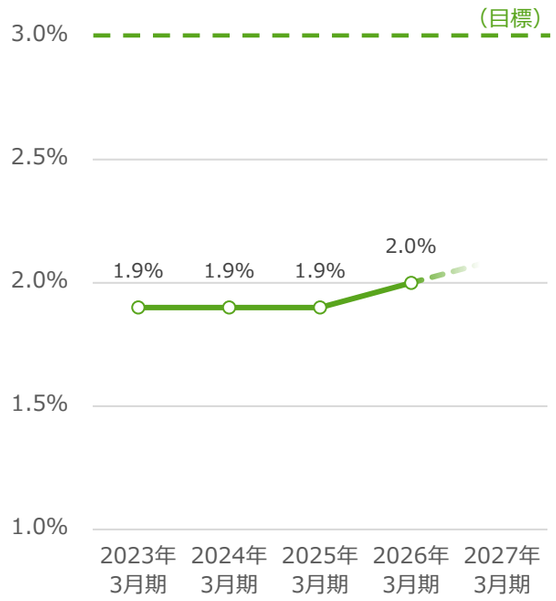


Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

株主還元

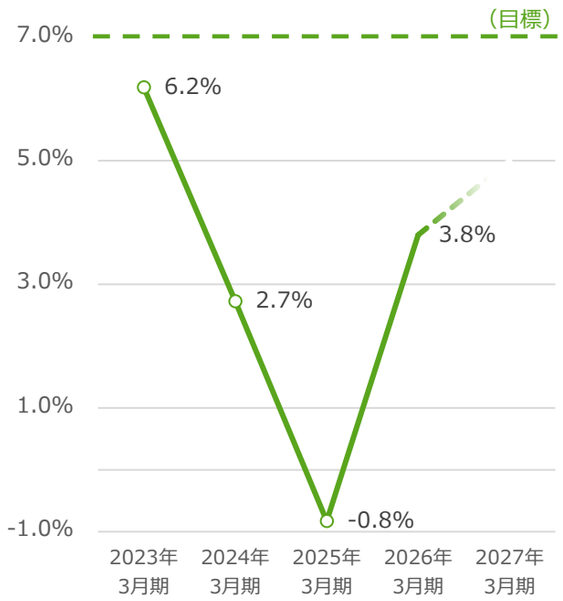
通期業績予想を修正しましたが、年間配当予想は１株当たり16.50円から変更ありません。成長投資と継続的・安定的な配当の両立を図り、
DOE３％、ROE７％を目標に資本効率の向上に取り組みます。

DOE（株主資本配当率）推移



DOE　目標３％

ROE（自己資本利益率）推移



ROE　目標７％

配当総額・1株当たり配当金推移



2026年８月10日の取締役会決議に基づき、
取得価額総額1.5億円、
取得株式数30万株を上限とする
自己株式取得を実施中です。
取得状況は次ページに記載しています。
資本効率を意識した経営を推進し、市場環境及び株価水準等を総合的に勘案しながら、機動的な自己株式取得を行います。

Copyright © 2026 Riskmonster.com　All rights reserved.

自己株式取得状況

資本効率の向上及び機動的な資本政策の遂行を目的として、消却を基本方針に、2026年８月から自己株式の取得を実施しています。

取締役会決議の概要

（2026年８月10日開催 取締役会議決内容）

（１）取得対象株式の種類
当社普通株式

（２）取得し得る株式の総数
300,000株（上限）
発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.98%

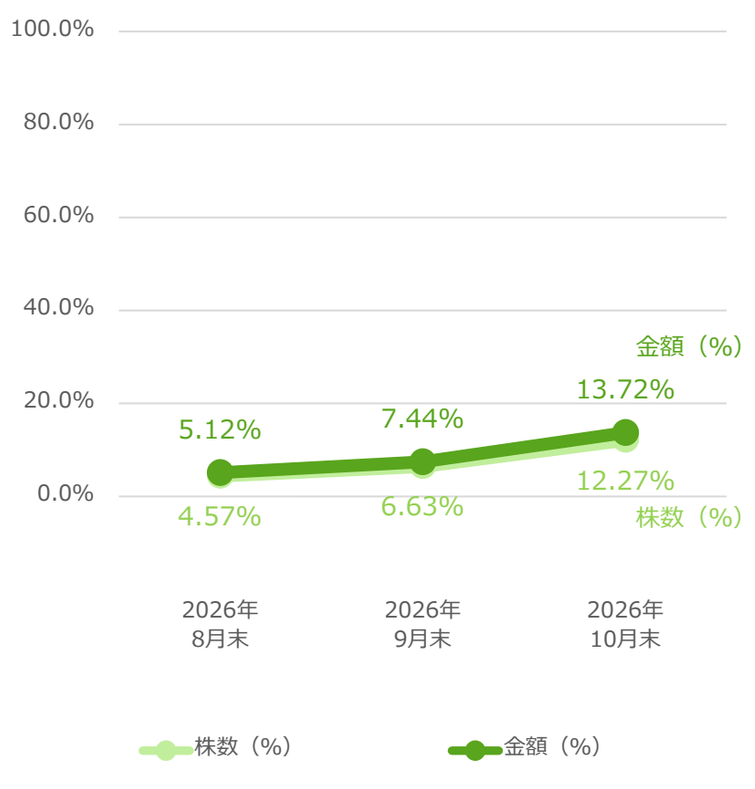
（３）株式の取得価額の総額
150,000,000円　（上限）

（４）取得期間
2026年８月12日 ～ 2027年６月30日
市場動向及び株価水準を勘案し、取得期間内に機動的かつ柔軟に実施します。

（５）取得方法
東京証券取引所における市場買付（立会取引を通じて実施予定）

（６）取得した株式の処分予定
取得した自己株式については、資本効率の向上を目的として、消却を基本方針に、今後の状況を踏まえ適切に対応します。

自己株式の取得状況　進捗率



2026年10月31日現在の取得状況

- **約定株数合計**　36,800株
- **約定金額合計**　20,585,100円
- **進捗率（株数）**　**12.27%**
- **進捗率（金額）**　**13.72%**

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

株主優待・動画配信

株主優待制度

当社は、毎年９月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を６ヶ月以上保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象とした株主優待制度を設けております。

また、当社株式を１年以上保有されており、かつ、600株以上の当社株式を保有する株主様におかれましては、お好きな商品または寄付を1点お選びいただく選択式の株主優待となっております。優待商品につきましては、日本各地の名産品や、防災用品、当社オリジナル商品等のほか、商品に代わり日本赤十字社への寄付もお選びいただけます。

所有株式数＼保有期間	６ヶ月以上 １年未満	１年以上 ３年未満	３年以上 ５年未満	５年以上
300株以上	当社指定商品	当社指定商品		
600株以上		1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
1,000株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
2,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

2026年度選択式株主優待カタログ（抜粋）



リスモンちゃんねる　配信

YouTube「リスモンちゃんねるIR」では当社のIR動画を年に４回インターネットで公開しております。そのうち２回は決算に関するもの、残り２回は当社サービスに関するものです。

また、YouTube「リスモンちゃんねる」では、一般の方には馴染みの薄い「与信管理」や「リスクモンスターの活動」について、広く普及することを目的に、企業や仕事にまつわるテーマの動画を配信しております。





Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

まとめ　今後の展望

01 利用率向上と既存会員の利用拡大

02 継続利用・クロスセルによる収益基盤の強化

03 BPOの採算改善と投資効果の収益化

04 成長投資と安定的な株主還元の両立

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

お問い合わせ

IRに関するお問い合わせ

Mail

ir@riskmonster.co.jp

お問い合わせフォーム

https://www.riskmonster.co.jp/form/inquire/ir/index

※　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

※　実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。

会社名

リスクモンスター株式会社
https://www.riskmonster.co.jp

所在地（本社）

東京都中央区日本橋2-16-5　ＲＭＧビル

連結子会社

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社
https://www.j-motto.co.jp

リスモン・マッスル・データ株式会社
株式会社シップス
株式会社ユウトハンズ
https://www.outsource.co.jp

利墨（上海）商務信息咨詢有限公司
https://www.rismon.com.cn

Copyright © 2026 Riskmonster.com　All rights reserved.

Appendix

補足情報

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

企業理念と長期ビジョン

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう　プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン「RismonG-30」（2021～2030年度）

第８次 中期経営計画（2024～2025年度）

企業におけるリスク管理文化の定着に向けた取り組み

第９次 中期経営計画（2026～2028年度）

「RismonG-30（2030年度）に向けた３ヵ年計画」

2028年度　目標

連結売上高　45億円　　営業利益　５億円

企業間取引におけるリスク管理インフラとしてのポジション確立

2030年度　目標

「新しいスタンダードを提供する」

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

『第９次中期経営計画（2026～2028年度）』
基本方針～全体方針～

①　中心テーマ

・与信管理サービス事業（与信管理）の高度化

➡　AI×データ×モニタリングの統合

・BPOサービス事業（バックオフィスDX）の生産性革命

➡　AI-OCR×クラウド×海外

(与信管理サービス事業/BPOサービス事業が成長率・利益率の両面で牽引する構造に)

・事業間連携による顧客支援の拡充

➡　ビジネスポータルサイト事業・教育関連事業・海外事業による補完成長

②　投資方針

付加価値向上に向けた投資を通じ、基盤整備と成長施策を並行して進めます。

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

『第９次中期経営計画（2026～2028年度）』
基本方針～事業別方針～

与信管理サービス事業

- AI 格付の高度化：財務・非財務・行動データの統合
- 倒産予兆モデル・異常検知AI の実装
- コメントロジック（AI 要約）と自動チェック精度向上
- API 100 本化：Salesforce・ERP・SaaS との連携強化
- DB の鮮度・精度改善：AI-OCR による財務自動化

与信管理の再構築：データ・AI・モニタリングの統合

ＢＰＯサービス事業

- VERIFY クラウド化：案件管理～納品の完全オンライン化
- AI-OCR 高度化：読み取り精度90%→95%へ
- 再チェック工数30～40%削減
- 次世代入力システム構築（OCR＋RPA 連動）
- 海外センター活用：2028 年度オフショア比率25%

AI×OCR×クラウド×海外による生産性革命

教育関連事業

- 動画コンテンツの体系化（管理職・コンプラ・DX 領域）
- e-Learning 強化（LMS 刷新）
- フリーランス講師評価ロジックの設計
- BtoBtoE 販売導線の自動化

BtoBtoE モデルへの転換

海外事業（中国（上海））

- 中国データAPI 化：行政処分・裁判情報の構造化
- システム開発・RM AI モデル開発のオフショア推進
- クロスボーダー案件拡大

海外データ×開発の中枢

ビジネスポータルサイト事業

- アクティブ15 万ユーザー体制の確立
- サポート品質向上：内製化・自動化
- RM データ連携機能（企業情報パネル統合）
- モバイルUI/UX 刷新
- 有料化率向上（ARPU 改善＋解約率低減）

SMB（注１） 向け経営PF化

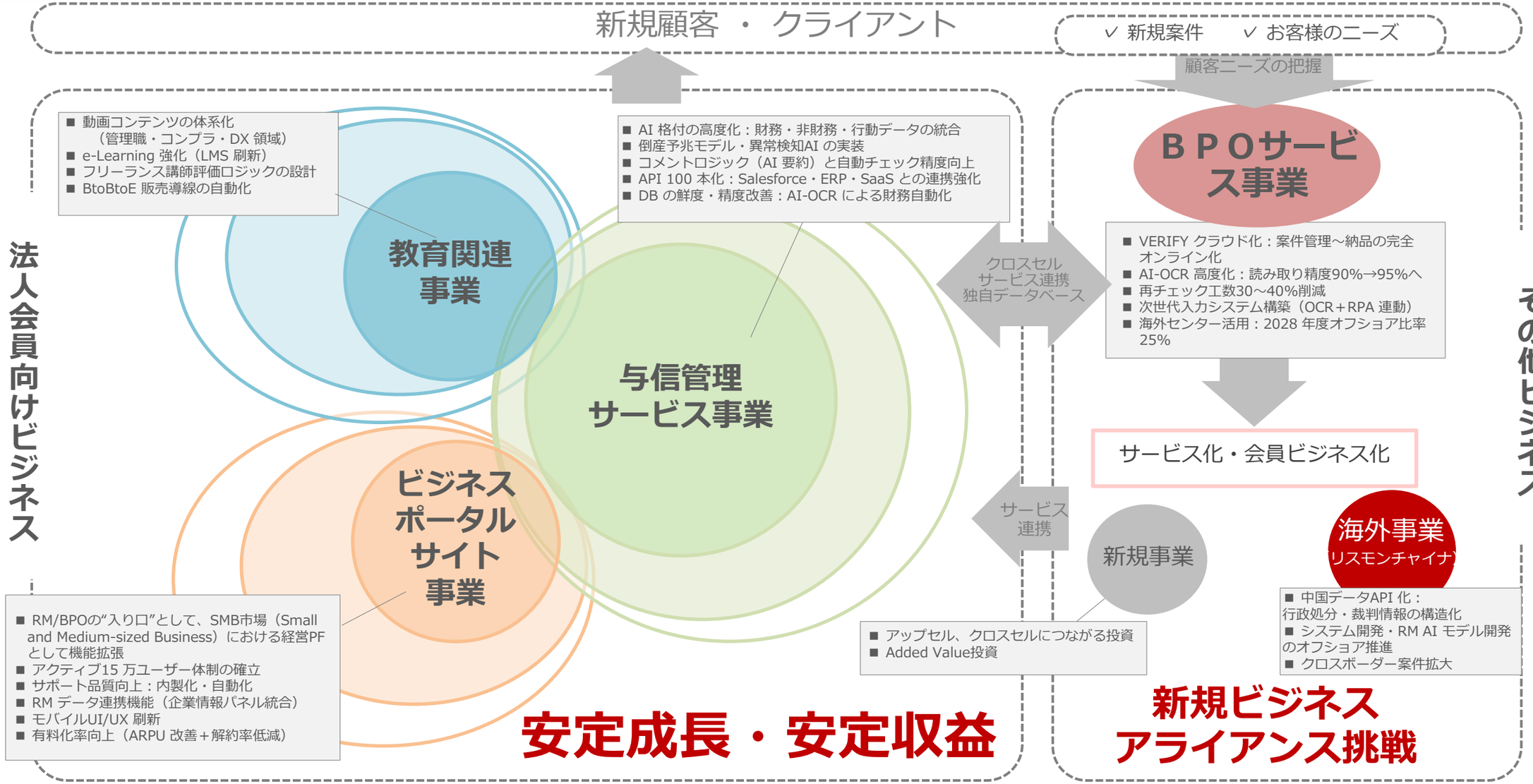
新規事業

- アップセル、クロスセルにつながる投資
- 付加価値を高める投資

（注１）SMB = Small and Medium-sized Business

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

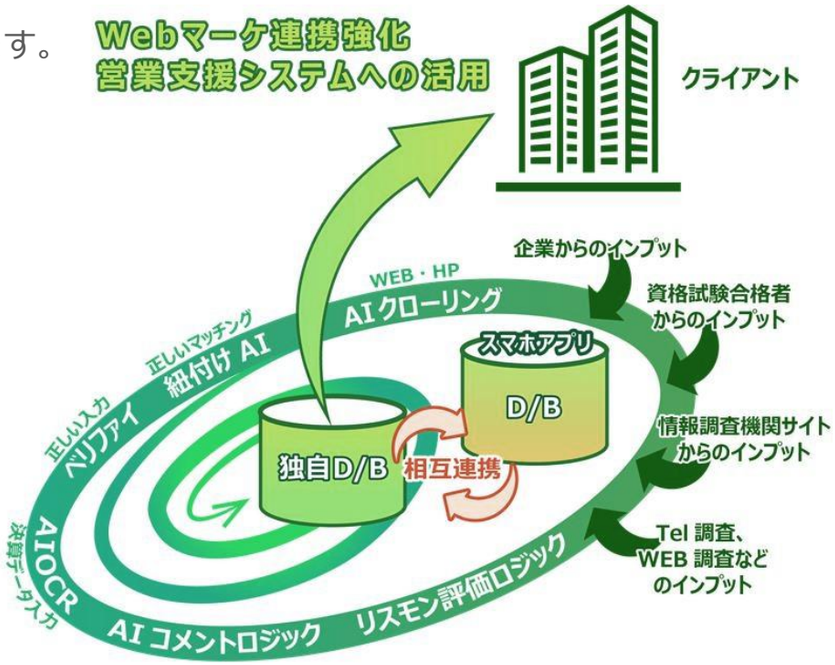
リスクモンスターグループのビジネスモデル



Copyright © 2026 Riskmonster.com　All rights reserved.

ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）への取り組み

当社は、独自データとAIを活用したサービス開発・業務効率化を進め、顧客企業のDXを支援しています。



ＡＩ等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化

クライアントへのＤＸ化支援サービスの展開

デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進

2022年３月に経済産業省が定める　「 ＤＸ認定事業者 」　の認定を取得

具体的なクライアントへのＤＸ化支援サービスとして、以下のサービスをリリースしました。

- 「e-与信ナビ 反社チェックヒートマップ」
- 「リスモンＡＩ与信管理PDF」
- 「リスモン企業データベースAPI連携サービス」

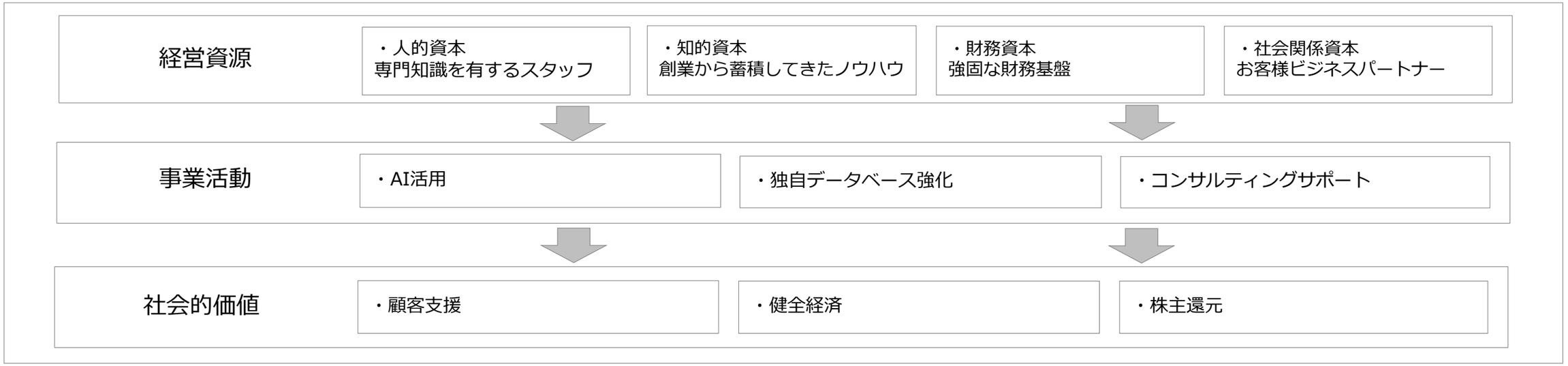
Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

今後の展望

独自データとAI・モニタリングを組み合わせ、
顧客のリスク管理業務への組み込みとサービス価値の向上を進めます。

当社経営理念*のもと、ＡＩとデータを活かした次世代型与信モデルの確立を通じ、「社会的価値創造と資本効率の向上」を両立してまいります。
当社独自のデータベース（現在570万社超）を活かし、最先端ＡＩ技術と融合させることで、「ＡＩ×与信管理」「反社・コンプラチェック」の分野をはじめとする社会的価値を向上させる新たなサービスを開発していきます。当社は、引き続き、「当社与信管理モデルを与信業界のスタンダードとする」ことを目指して、社会的価値の創造を続けて参ります。今後の当社の事業展開にぜひご期待ください。
今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

*リスクモンスターグループの企業理念
1.顧客を大切にして共に繁栄しよう。　2.プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう。
https://www.riskmonster.co.jp/corporate/ir/management/philosophy/



Copyright © 2026 Riskmonster.com　All rights reserved.

新機能『反社チェックヒートマップ：アラーム通知』をリリース

2026年4月20日、「反社チェックヒートマップ：アラーム通知」の提供を開始いたしました。

取引開始後に反社との関係やコンプライアンス違反等が判明するリスクに備え、取引先情報を継続的に把握することが重要です。
一方で、こうしたリスクの継続的な把握は担当者任せになりやすく、見逃しや対応遅れが課題となっています。
本機能は、取引先に関する反社・コンプライアンスリスクの悪化を検知し、メールで自動通知するものです。通知から対象企業の詳細情報を即時確認できるため、取引開始後の継続監視（モニタリング）を実現し、初動対応の迅速化と適切な取引判断を支援します。

取引先リスクの見逃し低減を支援　新機能の特徴

取引先に関する反社・コンプライアンスリスク情報が悪化した場合、メール自動通知でお知らせします。通知メール内のリンクから、対象の取引先と内容を一覧で確認できます。必要に応じて反社チェックヒートマップを参照することで、リスクの程度や詳細情報を把握できます。

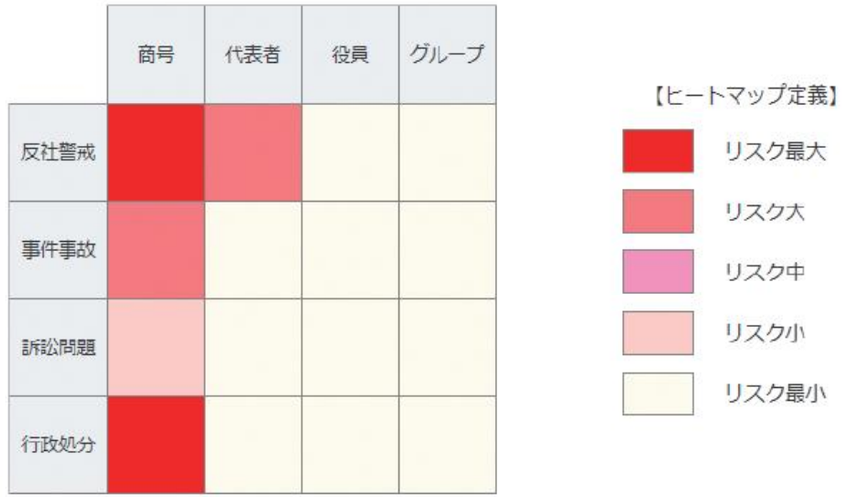
<アラーム通知の内容>
「反社チェックヒートマップ」で表示される 16マス
（4つの情報区分 × 4つの法人・個人区分）において、リスクが悪化した場合に通知します。

- ✅ 情報区分（4分類）：反社警戒／事件事故／訴訟問題／行政処分
- ✅ 法人・個人区分（4分類）：商号／代表者／役員／グループ

これにより、取引先のどの領域でリスク情報が変化したかを通知し、優先度に応じた対応を支援します。

■反社チェックヒートマップとは

企業検索するだけで、与信判断と併せた反社チェックが一度に実現できるサービスです。リスクモンスターが独自に収集したコンプライアンス情報・反社関連情報から、網羅性に富んだ信憑性の高い情報をワンストップで提供し、リスクの高さをヒートマップ形式で表示します。



Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.

APIサービスに『反社個人API』を新規追加

2026年６月22日、リスクモンスターAPIサービスの新たな連携項目として「反社個人API」の提供を開始いたしました。

副業・フリーランスの普及に伴う「個人事業主」との取引拡大や、M&A時の「経営陣・株主」の背景調査、採用時の「入社予定者」のリスク確認など、個人を対象としたコンプライアンスチェックの重要性も拡大しています。
リスクモンスターでは、従来の法人向けAPIに加え、新たに個人検索に対応した「反社個人API」を開発しました。法人・個人双方のリスク情報をAPIで一元管理できる環境を提供することで、審査業務のDX推進と内部統制強化を支援します。

■APIサービス　導入メリット

（１）審査業務の標準化・ガバナンス強化

API連携により審査フローをシステム化することで、属人化を抑制し、統一された審査体制を構築できます。

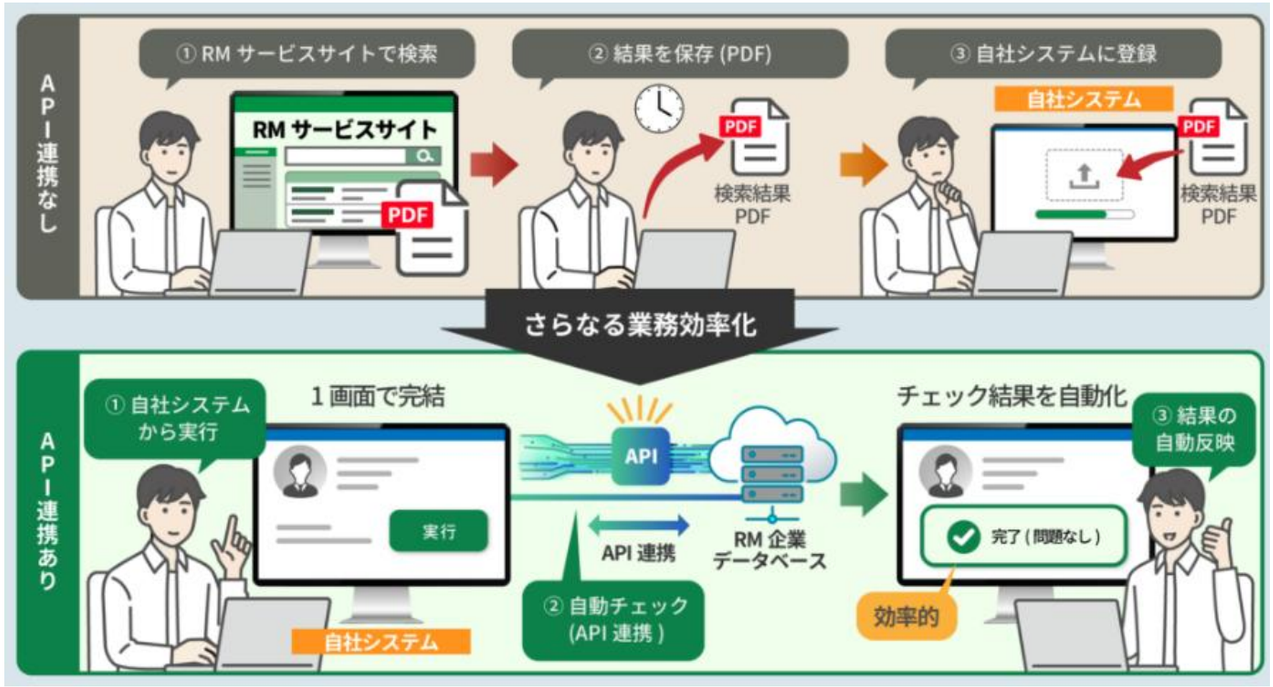
（２）業務工数の大幅削減

外部サービスへのログインやPDF保存、申請書への転記作業などを自動化することで、審査業務の効率化を実現します。実際に、リスクモンスター会員様からは、「審査業務の工数が約90%削減された」との声も寄せられています。

（３）DX推進の加速

CRMや基幹システムなど複数システムとの連携により、リスク情報をリアルタイムで活用でき、データドリブンな意思決定を支援します。

■API連携　業務イメージ



Copyright © 2026 Riskmonster.com　All rights reserved.

あなたの会社の e-審査部®

リスクモンスター株式会社

Copyright © 2026 Riskmonster.com All rights reserved.